



吉川壽一さん

(81歳・半田)

いろいろな悩むよりも、とりあえずやってみる。チャレンジ精神こそが、人生を豊かにしてくれると思いますね。

大学教員として長年教壇に立ち、今も現役で講義を続ける吉川壽一さん。専門は憲法や行政法です。語学に親しみ、地域活動や留学生支援にも積極的にかかわってきました。吉川さんの人生を支えてきたのは、「人との出会い」でした。

「先輩や師匠に『これをやってみたらどうか』と言われたら、まずやってみるようになってきました。あれこれ考えて立ち止まるより、動いた方が良いですからね。振り返ったら、それで道が開けてきたように思います」

人生の中でも、大きな転機になったのが20代でのドイツ留学です。旧・文部省の私学振興財団からの派遣で西ドイツへ渡ったのは、まだベルリンの壁があった時代でした。

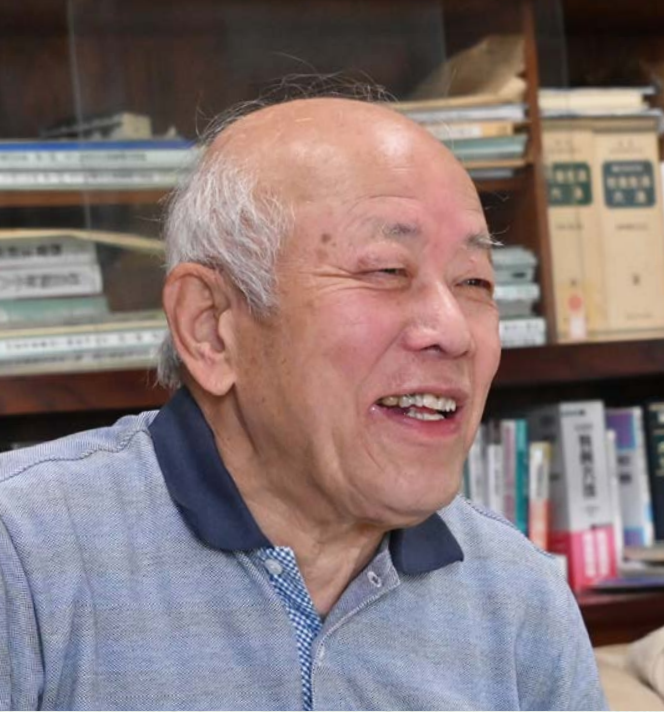
「当時、西ベルリンには、東ドイツを横断しないと行けなかったんです。通過ビザも8時間限定で、それも古い故障しそうなワーゲンに乗って。今思うと、よく行ったなと思いますよ。でも、あの時代の空気を肌で感じられたのは貴重な体験でした」
異なる文化の中に身を置いた経験は、その後の教育や国際交流への姿勢にもつながっています。

「語学も完璧じゃなくて良いんです。片言でも、まず話してみる。自ら輪の中に入っていくと、案外なんとかなりますよ。留学先では、英語やドイツ語を使って、多くの人と出会いました。怖がっていたら、世界は広がりませんから」

今も語学を学び続け、様々な場に足を運ぶ吉川さん。地域では大阪狭山ロータリークラブなどを通じて、留学生へのサポートや社会奉仕活動にも取り組んでいます。これからの思いを伺うと、やさしい笑顔で話してくれました。

「今まで大きな病気をすることなく過ごすことができました。これからも元気に、同級生や先輩、友だちと会いたいですね。人と会って話すことが、一番の元気の源だと思います」

軽やかな行動力と、自然に人の輪に溶け込んでいく温かな人柄。吉川さんが積み重ねてきた歩みは、生涯学び続けること、人とのつながりを持ち続けることの大切さを教えてくれます。



ひとり暮らしや寝たきりの高齢者の自宅を民生委員が訪問

6月から、民生委員がひとり暮らしや寝たきりの高齢者の自宅を訪問します。訪問の際に、災害などの緊急時に関係機関との連携を図るため、「ひとり暮らし・寝たきり高齢者台帳」の作成をお願いしています。訪問へのご理解とご協力をお願いします。問い合わせ 高齢者福祉グループ 360-4085

高齢者防火訪問

堺市消防局では、75歳以上の人が居住する一部の世帯を対象に、防火訪問を行います。訪問の際は、必ず消防手帳などの身分証を携帯しています。不審な電話や訪問には個人情報をお話し。問い合わせ 堺市消防局予防査察課 072-23816005

さやま荘落語会

とき 6月26日(金)午後1時30分～2時30分
ところ さやま荘・多目的室
問い合わせ さやま荘 ☎366-2022



風呂の日

とき 6月26日(金)午前11時～午後4時(午後3時30分まで受け付け)
ところ さやま荘 ※風呂の日以外は入浴料100円が必要です
問い合わせ さやま荘 ☎366-2022

福祉センター閉館日

さやま荘 / 6月14日(日)、さつき荘 / 6月13日(土)・14日(日)・27日(土)・28日(日)